

科目分類	専門分野Ⅱ	対象学年	1 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	看護の基本技術Ⅲ (フィジカルアセ スメント)	学 期	前 期	藤田 野乃 (看護教員)
		単 位 数	1	
		時 間 数	30	
目的 (ねらい)	看護の対象となる人々の健康状態を把握するために、看護の視点から対象の身体各システムにおける状態を観察し、評価するフィジカルアセスメントについて学ぶ。さらに、フィジカルイグザミネーションの技術を習得し、看護実践で活用できるための基礎的能力を養う。			
目標	1. フィジカルイグザミネーションとフィジカルアセスメントを理解する 3. バイタルサイン測定の目的を理解し、正確に測定する技術を身につける。 4. 身体計測技術の目的を理解し、正確に測定する技術を身につける。 5. 系統的なフィジカルアセスメントの方法を理解する。			
	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	フィジカルアセスメントとは	1) ヘルスアセスメント 2) フィジカルアセスメント 3) フィジカルイグザミネーション 2) フィジカルアセスメントにおける基本技術 (問診・視診・触診・打診・聴診)	講義/演習
	2・3	バイタルサイン①	1) 体温 2) 脈拍 3) 呼吸 4) 意識	講義/演習
	4・5	バイタルサイン②	5) 血圧	講義/演習
	6・7	バイタルサイン③	バイタルサインの測定	演習
	8	身体計測 瞳孔の観察	1) 身長 2) 体重 3) 腹囲	演習
	9	系統的なフィジカルアセ	呼吸器系のアセスメント	講義/演習
	10	スメント①	1) 胸部の体表解剖 2) 呼吸音 (正常・異常)	講義/演習
	11	系統的なフィジカルアセ	1) 消化器系のアセスメント	講義/演習
	12	スメント②	2) 感覚器系のアセスメント	講義/演習
	12	系統的なフィジカルアセ	循環器系のアセスメント	演習
	13	スメント③		
	13	バイタルサイン④	バイタルサイン測定技術試験	試験
	14	まとめ①	フィジカルイグザミネーションの実践	演習
	15	まとめ②	多様な療養環境でのバイタルサイン測定	演習
教科書	新体系 看護学全書 基礎看護技術Ⅰ (メヂカルフレンド社)			
参考文献	フィジカルアセスメントガイドブック 第2版 (医学書院) 看護技術プラクティス 第4版 (学研メディカル秀潤社)			
評価方法	技術試験 30%、定期試験 60%、授業参加状況 10%で、総合的に評価する。			
関連科目	解剖生理学、看護学概論、基本技術Ⅱ・Ⅲ、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、在宅看護論			
自己学習に関する指針	・テキストの関連する内容を読んでおくこと。 ・フィジカルイグザミネーションについては、授業時間内での技術の上達は困難であるため、自主練習を行うこと。			
その他の通知事項	随時質問に応じる。			